



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

財団法人 日本臨床検査技師会

発行責任者 小崎繁昭

編集責任者 高田欽也・金子健史・高永博夫
水井正樹・大高正壽

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

平成19年度 代議員会開催!



小田原城址公園

平成 20 年 1 月 26 日 (土) 当会館において“平成 19 年度代議員会”が開催された。

今回は、平成 19 年度事業中間報告および平成 20 年度事業計画案の骨子が説明された。当会は、公益法人の「公益認定」を目指すこととしており、そのための各事業計画となっている。

<平成 19 年度事業中間報告>

◆会務執行体制については、監理企画調整部をはじめとする組織運営は現体制 2 期目を迎え、着実に進行しているが、各部(門)の横断的な事業展開において不十分な面も見られ今後の課題である。

◆厚生労働省への要望については、

・診療報酬改定に向けて、検体検査管理加算 (I)・(II) の見直し及び改正について以下の項目を要望した。

◇ 院内感染防止対策技術加算について

◇ 医療技術評価 (採血料) について

◇ 検体検査診療報酬除外項について

・健康局生活習慣病対策係へ、以下の要望を行った。

◇ “標準的な健診・保健指導プログラム”に標準化実践主体団体である日臨技の名称併記について

◇ “健やか生活習慣病国民運動全国協議会”への参画について

・医政局医事課へ法改正後の問題につき折衝した。

◇ 生理検査の省令委任における記載項目について

◇ 臨床検査技師国家試験受験特例講習について

◆公明党臨床検査技師制度改革議員懇話会および自由民主党厚生労働部・厚生関係団体委員会へ、平成 20 年度予算編成に関する要望書<臨床検査データの標準化と精度保障に関する事業、臨床検査技師人財育成に関する事業>を提出し、夫々以下の会議において説明した。

◆臨床検査業務上の倫理問題に関して、日本臨床検査薬協会と意見調整を行った。

・プロモーションコードについて意見調整を行い「不祥事の再発防止対策等の検討」について合意を得、日臨技としての見解をまとめた。

・日本臨床検査薬協会の勉強会へ地区担当理事、地区会長をはじめ関係理事が参加することとした。今後については啓発活動などにつき協議を続けることとした。

◆特別委員会については、5 委員会とも継続したが、各委員会の中間とりまとめにより委員会の統合も示唆され、その是非を含め統合整理を検討中である。

・学会あり方委員会より今後の学会の在り方について答申を受けた。これにより、第 4 回理事会<平成 19 年 8 月 18 日>において、平成 22 年度より新しい学会開催・運営方式を採用することに決定した。

・新たに組織運営に関する諮問委員会を設置し「日本臨床検査技師会役員の有給制の是非」を諮問し、答申を受けた。

続く・・・

P01:平成19年度代議員会開催される-1

P02:同-2

P03:同-3・プロモーションビデオ完成

P04:地区短信

P05:厚生労働省通知-1

P06:同-2

P07:同-3

P08:同-4・投稿:「誤意見“どげんかせんといかん”」紹介「ひと」

P09:医療安全対策研修会終了・研究教育から教育研修へ

P10:資料:リスクアセスメント-1

P11:同-2

P12:同-3・災害募金お礼・Oh!脳

P13:ひとくち英会話・地球温暖化「わたしの工夫」・新刊紹介

P14:理事行動・編集室

P15:日臨技リンクス

P16:臨床検査技師賠償責任保険